

<評価の流れ（考え方）の整理>

新たな交通システムの比較検討に当たり、新たな交通システムの評価視点に対応した指標を設定し、総合評価を行うことで、新潟市にふさわしい新たな交通システムの導入方向性を提示する。

○ 新たな交通システムの評価視点
および評価指標の整理



●総合評価

- ・評価シートを作成したうえで、各評価指標について評価を実施
- ・評価指標において重視する点の協議

⇒協議のうえ最終的に“本市にふさわしい新たな交通システム”の導入方向性を提示する。
（なお、必要に応じて、区間ごとにふさわしい新たな交通システムの導入方向性を提示する）

No.	評価視点	内容	評価指標および関連項目		
1	公共交通としてのサービス向上	○定時性、速達性が確保できるか	速達性	定時性	
		○わかりやすいシステムか	シンボル性（わかりやすさ）		
		○利用しやすいシステムか	頻度	運賃	アクセス性（停留場）
			待ち空間		
		○必要な輸送量を確保できるか	輸送力		
		○既存路線バスや自動車、自転車との連携はしやすいか ○郊外の利用者にとっても使いやすいか	乗換利便性 （公共交通・自動車・自転車等）	公共交通の連続性 （スルー運行等）	
2	高齢社会への対応	○高齢者をはじめ、誰もが快適に移動しやすいか	バリアフリー	乗り心地	
3	環境への配慮	○環境負荷の低減が可能か	CO2排出量 （自動車からの転換，システム自体）		
4	まちづくりへの寄与	○新たなまちの魅力を創出するシステムか	シンボル性（都市景観）		
		○新潟市のまちづくりに寄与するシステムか	中心市街地の活性化	関連計画との整合性	
5	事業成立性	○事業採算性はどの程度か	事業採算性	初期投資費	維持管理費
			利用者数		
6	導入空間	○公的負担額はどの程度か	公的負担額	支援制度	
		○走行空間が適切に確保されているか	導入空間の確保	関係法令	道路幅員
7	その他	○自動車への影響はどの程度か	自動車への影響	道路容量	
		○新潟市の気候を配慮できるか	気候（雪，風など）面での対応		
		○時代やまちの変化に対応する柔軟性・拡張性があるか	柔軟性	拡張性	